

ecoドライブ機能を使う

ecoドライブ機能とは

急加速・急減速・アイドリング・速度の情報をもとに、環境に優しい「エコドライブ」ができています。どうか診断します。

お知らせ

- ドライブ診断の結果は目安であり、その内容を当社は保証するものではありません。

ecoドライブを開始する

1 情報メニュー(P.25)からecoドライブを選ぶ

2 ecoドライブ画面からecoドライブ開始を選ぶ

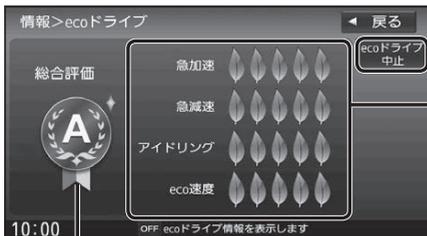


- ecoドライブの診断を開始します。

ecoドライブを中止するには

ecoドライブの診断中に、ecoドライブ画面(左記)からecoドライブ中止を選ぶ

- ecoドライブの診断を中止します。



診断結果

エコマーク(🍃)が多いほど高評価です。(「🍃🍃🍃」が最高)

- 急加速:急加速を行うと、エコマークが減少
- 急減速:急減速を行うと、エコマークが減少
- アイドリング:長時間のアイドリングで、エコマークが減少
- eco速度:高速度での走行が多いと、エコマークが減少

総合評価

- 診断結果をもとに、ecoドライブの総合評価がA(最高)~E(最低)の5段階で表示されます。

お知らせ

- ecoドライブ画面を表示中は、診断結果は更新されません。
- ACC ON状態(エンジン OFF)でもアイドリング状態と診断されます。
- 「eco」(P.64)で探索したルートを行っても、道路条件や運転のしかたで、ecoドライブの診断結果が悪くなる場合があります。
- 日付が変わり、本機の電源を OFFにした時点で、診断結果はリセットされます。

メンテナンス情報を設定する

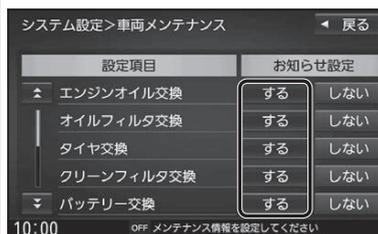
GPSからの日付情報と車速信号を使用して車のエンジンオイルや消耗部品の交換時期などがきたことを、音声と画面で案内します。

1 情報・設定メニュー(P.25)からシステム設定を選ぶ

2 システム設定画面からその他設定を選ぶ

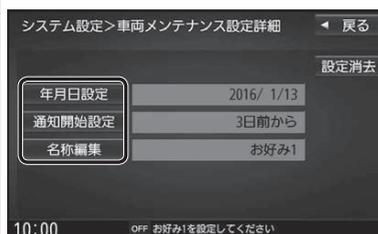
3 車両メンテナンスを選ぶ

4 車両メンテナンス設定画面から、車両メンテナンスの案内をさせたい項目のするを選ぶ



- 以下の項目が設定できます。
[お買い上げ時の設定: しない]
 - ・エンジンオイル交換
 - ・オイルフィルタ交換
 - ・タイヤ交換
 - ・クリーンフィルタ交換
 - ・バッテリー交換
 - ・タイヤローテーション
 - ・お好み1*1
 - ・お好み2*1

5 車両メンテナンス設定詳細画面から、項目の詳細を設定する

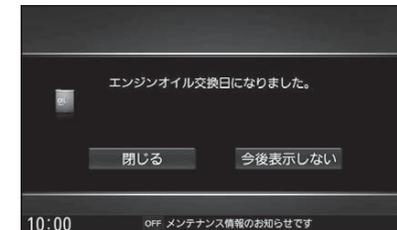


- 年月日設定
メンテナンスする年月日を入力
- 通知開始設定
メンテナンスの何日前に通知するかを設定
- 通知開始距離*2
+/-で、メンテナンスの通知を開始する距離を設定
- 名称編集
お好み1、お好み2の名称を編集

メンテナンス情報の案内について

通知開始設定の日になった、設定日当日になった、設定日をすぎた、または設定をした距離を走行した場合は、本機を起動したときにそれぞれの画面でお知らせします。

例: エンジンオイル交換



お知らせ

- 今後表示しないを選ぶと、次回起動時からはお知らせしません。また、メンテナンス設定画面のお知らせ設定が「しない」に変更されます。
- お知らせするメンテナンス時期と実際にメンテナンスが必要な時期は車の使用状況によって異なる場合があります。
- メンテナンス情報で計測される走行距離と実際の走行距離が異なる場合があります。

メンテナンス情報を解除するには

車両メンテナンス設定画面から解除したい項目のしないを選ぶ

- 選んだ項目が解除されます。
- 車両メンテナンス設定詳細画面(左記)から、設定消去を選んで解除できます。

*1 名称を変更して、お好みの項目を登録できます。
例:「車検」の年月日を案内させるなど

*2 項目によっては、設定しない場合があります。

地図更新について

本機は、年度更新地図（有料）で地図の更新ができます。
年度更新地図の発売時期・販売方法などについては、決定しだい、下記サイトにてご案内します。

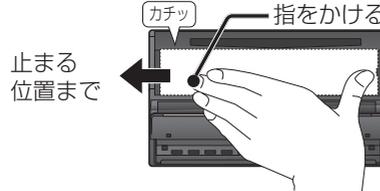
<http://panasonic.jp/navi/>

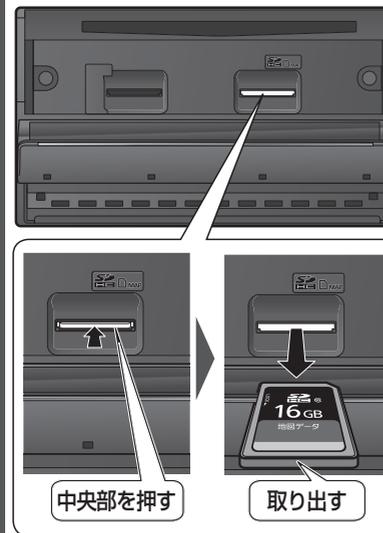
■更新内容

- 道路地図（縮尺50 m～250 km） ※細街路含む。
- 案内画像（リアル3D表示・ジャンクションビュー・方面看板など）
- 音声案内
- 地点検索データ（施設情報・電話番号情報など）
- 市街地図

地図SDHCメモリーカードの出し入れ

取り出ししかた

- 1 **TILT** を押し、**OPEN** を選ぶ
●ディスプレイが開きます。
- 2 パネルを左にスライドさせ、
取り出す

- 3 車のエンジンを切る（ACCをOFFにする）
●ディスプレイが開いたまま、電源が切れます。
- 4 地図SDHCメモリーカードを
取り出す

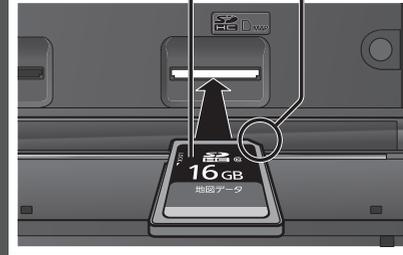
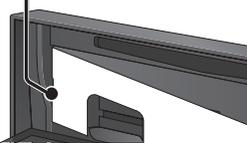
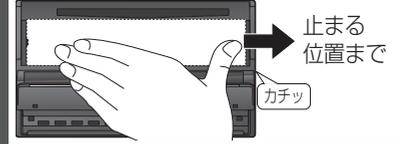


そのまま地図更新を行ってください。

お知らせ

- 地図SDHCメモリーカードを挿入したら、必ずパネルを取り付けてください。
パネルが取り付けられていない状態では、ディスプレイが閉まりません。

挿入のしかた

- 1 左記手順3の状態
で、
地図SDHCメモリーカードを挿入する

角がカットされた側を右に
ラベル面を上
- 2 パネルを本体の左端に
合わせ、
はめ込む

●パネル裏面の突起を、本体の孔にかみ
合わせてください。
- 3 パネルを右にスライドさせ、
取り付ける

- 4 ディスプレイを閉める
1 車のエンジンをかける
（ACCをONにする）
2 **確認** を選び、**TILT** を押し
●ディスプレイが閉まります。

バージョンアップする 別売品と組み合わせて使う

接続する各機器の説明書もよくお読みください。

本機のソフトウェアをバージョンアップできます。

準備

- 下記サイトからダウンロードした更新プログラムが保存されたSDメモリーカードを本機に挿入してください。(P.110)
<http://panasonic.jp/navi/>

1 情報・設定メニュー (P.25) からシステム設定を選ぶ

2 システム設定画面からその他設定を選ぶ

3 バージョンアップを選ぶ

4 アプリケーションを選ぶ

5 はいを選ぶ

- バージョンアップを開始します。

6 バージョンアップが完了したら、車のエンジンを止め (ACC OFF)、約 10 秒間放置してから、再度車のエンジンをかける (ACC ON)

- 本機が再起動します。

後席用モニターと組み合わせる

本機の映像*1を、後席用モニターに表示できます。

- 別売の車両AVインターフェースコード (CA-LAV200D) の接続が必要です。(取付説明書)

準備

- 後席用モニターを、本機が接続されている入力モード (「ビデオ入力」など) に切り換えてください。

オーディオを切り換える (P.82)

- 本機および後席用モニターに、選んだオーディオが表示されます。
- [MAP] を押すと、後席用モニターに映像を出力したまま、本機のディスプレイを現在地画面に切り換えることができます。
- 後席用モニターには、走行中でも映像が出力されます。

*1 TV、DVD、VTR、SD(動画)、USB(動画)

カメラ付きリアモニターと接続して使う

カメラ付きリアモニター (CA-RMC900D) の映像を、本機に割り込み表示させることができます。

- 別売の車両AVインターフェースコード (CA-LAV200D) の接続が必要です。(取付説明書)

カメラ付きリアモニターの設定をする

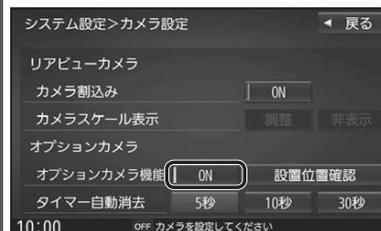
カメラ付きリアモニターをご利用になる前に、下記設定を行ってください。

1 情報・設定メニュー (P.25) からシステム設定を選ぶ

2 システム設定画面からその他設定を選ぶ

3 カメラ設定を選ぶ

4 オプションカメラ機能 ON を選ぶ



- オプションカメラがONになります。 [お買い上げ時の設定：OFF]
- 再度選ぶと、OFFになります。

5 タイマー自動消去の時間を設定する

- カメラの映像に切り換えてから、もとの画面に戻るまでの時間 (本機に映像が表示される時間) を設定します。
設定範囲：5秒 10秒 30秒
[お買い上げ時の設定：5秒]

6 設置位置確認を選ぶ

- カメラの映像が本機に表示されます。映像を見ながら、オプションカメラの設置位置の調整や画質の調整 (P.121) を行ってください。

カメラ付きリアモニターの映像を見る

準備

- 「ダイレクトボタン」を「オプションカメラ」に設定してください。(P.154)

現在地画面で [DIRECT] をタッチする



オプションカメラの映像が、本機に表示されます。



- タイマー自動消去 (左記) で設定された時間カメラの映像を表示して、現在地画面に戻ります。

お知らせ

- ランチャーメニューからオプションカメラの映像を表示することもできます。(P.40)

終了するには

映像表示中に、[MAP] を押す
または画面にタッチする